

# 堺市がセンターと連携して行っている事業

堺市は、2003年にユネスコ総会で採択された「無形文化遺産の保護に関する条約」の普及周知のほか、市民の皆さんが多様な無形文化遺産に触れ、異文化に対する理解や日本の文化に対する意識を深めてもらうための事業を実施しています。

## シンポジウム

### ◇ 開設記念シンポジウム

「危機に瀕する無形文化遺産の  
復興と継承を考える」  
(2011年10月4日 文化庁・センター・堺市主催)



### ◇ 無形文化遺産シンポジウム

「アジア太平洋地域における  
無形文化遺産の現状と課題」  
(2013年2月17日 センター・堺市主催)



## 無形文化遺産理解セミナー

無形文化遺産とその保護について広く市民に周知し、理解を深めるために実施しています。



▼ 第2回  
「雅楽を楽しもう  
～日本、アジア、  
世界との関わりの中  
で～」  
(2012年7月15日)



▼ 第4回  
「ことばと  
無形文化遺産」  
(センターとの共催・  
2012年11月23日)

▲ 第1回  
「身近な無形文化遺産  
の再発見」  
(2012年3月24日)



▲ 第3回  
「東南アジアの  
人形芝居を楽しもう」  
(2012年10月21日)



## 博物館内における展示

### ◇ パネル展示



● ユネスコ無形文化遺産保護条約や事例、日本や本市の取り組みについて紹介。西暦2000年世界民族芸能祭などの映像資料を上映。

### ◇ スポット展示

「東南アジアの人形芝居」  
(2012年10月2日～11月4日)



※堺市とセンターとの連携事業の詳細は堺市博物館のホームページをご覧ください。

<http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/unesco/index.html>



# 堺市がセンターと連携して行っている事業 (2013年度)

2013年は無形文化遺産の保護に関する条約が採択されて10周年を迎えました。堺市は、恒例の無形文化遺産理解事業の展示、セミナー、ワークショップを行った他、センター・文化庁との共催で無形文化遺産保護条約の10周年記念事業を開催しました。

## 無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム (2013年8月3日)

### ◇ 第1部「無形文化遺産を知る」



(基調講演)



(パネルディスカッション)

### ◇ 第2部「無形文化遺産の世界」



(佐陀神能)



(カンボジアの宮廷舞踊)

### ◇ ロビー展示

大阪府や堺市に関わりの深い文化遺産の紹介：人形浄瑠璃文楽・堺式手織緞通・上神谷のこおどりなど



(上神谷のこおどり展示)



(堺式手織緞通の実演)

## 無形文化遺産理解セミナー

無形文化遺産とその保護について広く市民に周知し、理解を深めるために実施しています。



▲ 第5回  
日本・ポルトガル交流  
470周年記念事業  
「ファド～ポルトガルの  
歌謡音楽～」  
(2013年6月8日)

▼ 第6回  
堺緞通—手織り技術の  
独自性に迫る—  
(2013年11月23日)※



▲ 第7回  
「ユネスコ無形文化遺産  
文楽をもっと知ろう！」  
(2014年3月29日)

## 博物館内における展示

◇ コーナー展示「堺緞通—手織り技術の独自性に迫る—」  
(2013年10月29日～12月1日)※



◉ 堺市の無形文化遺産「堺式手織緞通」の織機の最も特徴的な部分である「開孔板綜紵(かいこうばんそうこう)」に着目し、堺市博物館所蔵の堺緞通織機のほか、トルコ絨毯の織機やイラン絨毯(国立民族学博物館蔵)も展示しました。

## ワークショップ

◇ 手織りギャッベに挑戦  
(2013年11月28日 午前・午後2回)※



※ 第6回無形文化遺産理解セミナー、コーナー展示「堺緞通—手織り技術の独自性に迫る—」、ワークショップ「手織りギャッベに挑戦」は堺市の無形文化遺産「堺式手織緞通」に焦点をあてた無形文化遺産理解事業「堺緞通—手織り技術の独自性に迫る—」として開催されました。

# 堺市がセンターと連携して行っている事業 (2014年度)

## 無形文化遺産理解セミナー

無形文化遺産とその保護について広く市民に周知し、理解を深めるために実施しています。



▲ 第8回  
「人形浄瑠璃文楽の魅力  
—より深く理解し、  
楽しむために—」  
(2014年 6月28日)



▲ 第9回  
「世界のなかでの和食」  
(2014年9月27日)



▲ 第10回 第1部  
「ユネスコ無形文化遺産  
条約とIRCIの歩み」  
(2015年2月21日)



▲ 第10回 第2部  
「南インド社会と音楽」※

## 博物館内における展示

### ◇ パネル展示

「和食を支える堺の伝統産業」  
「堺の醸造文化」(2014年9月27日)



▲ 第9回無形文化遺産理解セミナー「世界のなかでの和食」に関連して、日本の食文化の発展に深くかかわってきた堺で、かつて盛んであった酒造業や、今日まで継承され、和食の支えになっている堺打刃物、昆布、和菓子などの伝統産業を紹介するパネル展示を行いました。

### ◇ コーナー展示

「南インドの音楽と楽器」※  
(2015年2月17日～3月22日)



▲ 国立民族学博物館の協力を得て、南インドの古典音楽であるカルナータカ音楽や、ヒンドゥー寺院での礼拝や祭礼時に演奏される伝統音楽ベリヤ・メーラムに使用される楽器を展示しました。

## ワークショップ

南インド古典舞踊—バラタナティヤム  
(2015年3月7日)



## トピック「おもてなし」

▼ 2014年10月1日に、アジア太平洋無形文化遺産研究センター(IRCI)運営理事会が堺市博物館で開催されました。国内外からの関係者・有識者をもてなし、堺の歴史文化を知っていただくために、刃物や線香など伝統産業を視察し、理事会会場の堺市博物館ホールの前では、茶席を設けて、お抹茶と和菓子を振舞いました。



※ 第10回無形文化遺産理解セミナー、コーナー展示「南インドの音楽と楽器」及びワークショップ「南インド古典舞踊—バラタナティヤム」は無形文化遺産理解事業「南インドの社会と音楽・舞踊」として開催されたものです。